

ミニレター  
**あぜみち通信**

\* \* \* \* \*

平成 2 1 年 2 月 1 日

9 8 号

編集・発行：愛知県農業会議

### 三河地域農業者年金担当者会議を開催

1月9日愛知県西三河総合庁舎において、三河地域の農業委員会農業者年金担当者、県農林水産事務所農政課の職員の参集を得て、農業者年金担当者会議を開催しました。

農業者年金は、農業者が農業に勤んだ後の老後の安心・安定を確保するための権利として獲得した制度であり、加入資格のある方全員に制度の内容を的確に伝えて判断して頂く必要があります。農業者の代表機関である農業委員会が正確な情報を提供することで、多くの方がその良さ、必要性を理解して加入されるのを手助けするため、再度、年金の重要性と農業者年金の加入による税制面でのメリット等を説明し、年度末に向けて加入推進をお願いしました。

また、今年度は耕作放棄地全体調査が行われましたが、後継者に経営移譲した特定処分対象農地が耕作放棄地となった場合の取扱について説明し、受給権者に対して不注意などから支給停止とならないよう適切な指導等を行うようお願いしました。

### 結婚相談員等研修会を開催

愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会は、農業青年の結婚支援の一環として、1月16日愛知県西三河総合庁舎において結婚相談員・事務局担当者等研修交流会を開催しました。岡崎市農業委員、豊橋市・JA愛知東を始め県内各地の結婚相談員や関係者40名が出席して熱心に研修されました。

豊橋市農業後継者花嫁対策推進協議会の結婚相談員木田きよえ氏と中村恵美子氏から「豊橋市における地域推進組織の活動状況について～農業委員会等との関わり～」について、地域の農業委員さんと一緒になって男女交流会を開催する様子を事例を交えて発表して頂きました。

また、昨年も講師をお願いして大好評でした(財)日本青年館結婚相談所専門相談員(昨年は所長)板本洋子氏から「若者の結婚活動と各地の結婚支援活動について」講演をして頂きました。

講演の中で板本先生は最近の未婚率上昇の背景には若者にも事情があること、各地方公共団体が実施する「結婚支援」とその問題点を明らかにされるとともに、結婚相談員のありかたにも言及され、個人情報保護と守秘義務には十分留意することと、相談員も資質向上の努力が必要であると強調されました。最後に「これからの結婚」は社会変化、家庭のあり方の変化、男女共同参画社会の進展によりどのよう

な姿にもなりうるものと結ばれました。

講演された3氏を囲んで活発な意見交換会で閉会となりましたが、出席者のアンケート調査結果では、この研修会が有意義であり、大変勉強になったとの回答が多く寄せられておりました。

### **名古屋市農業委員会研修会が開催されました**

1月20日、アイリス愛知において名古屋支部を対象とした農業委員・事務局職員研修会を開催しました。

この研修会は、8月1日の知多支部以降順次開催してきたものですが、名古屋市については選挙期日が異なったため、別の日程で開催したものです。

農業委員会の農地部会及び総会の後開催した研修会では、寺島正支部長（名古屋市農業委員長）の開催あいさつの後、平光事務局長から「情勢報告」と題して、農地政策・制度の見直し等中央情勢も踏まえて詳しく説明しました。

次に、県農林水産部農業振興課の城主任主査から「農地法等の概要について」と題し、都市近郊農業に関連の深い生産緑地法等の法令関係の基礎知識を中心にわかりやすく説明がありました。

最後に、農政課鳥居主査から「農業委員会委員の任務について」と題し、農業委員の仕事の解説と豊橋市、岡崎市、東海市などの県内農業委員会の優良な取組事例等も紹介しました。

出席した農業委員からは、都市化の進展する中、農業用水の不備や税負担の上昇など多くの悩みを抱えていることなど活発な質問・意見も出され、実りの多い研修会となりました。

### **愛知県経営構造対策推進協議会先進地調査を実施**

愛知県経営構造対策推進協議会（事務局農業会議）は1月22日、同協議会員、県・市町村職員、コンダクター等23名の参加を得て、三重県松阪市の三重県農業研究所と農業公園ベルファームを訪問しました。

農業研究所では近年の燃料高騰対策の省エネ技術の先進事例として、空気膜利用や多重被覆、株もと等へのスポット暖房、メタノール型燃料電池システム開発などについての説明を受けたのち、空気膜利用温室を見学しました。省エネ開発には多様な手法があることから、今後は農業外をも含め、特に集落単位程度での対応が必要ではないか、とのまとめに示唆を受けました。

農業公園では、事業主体の松阪市及び指定管理者として運営している（株）松阪協働ファームから公園設置の経緯及び管理運営について説明を受けました。イングリッシュガーデン、産直、レストラン、体験、イベントなど、多様な内容で集客に努めており、年間60万人の利用は農業公園施設としては全国十指に入るそうです。

（株）松阪協働ファームは県内の5法人（NPO、農業、銀行、JA、森林組合）が参画していますが、代表者はNPO法人三重スローライフ協会理事長を兼務されており、食育・緑育・健育をコンセプトとした運営は今後の農業公園の運営手法として参考になりました。

## 農林漁業への就業相談会が開催されました

雇用情勢が悪化している中で、愛知県の緊急産業雇用対策の一環として、農林漁業への就業希望者を対象に、就業に関する情報提供と個別相談会を内容とした「農林漁業への就業相談会」が県や本会など関係機関の主催で開催されました。

1月25日午後、名古屋市中区のアイリス愛知で開かれた相談会では、農林漁業の現状や就業に関する情報を提供する「ガイダンス」と、「個別相談会」が持たれましたが、農林漁業を新たに始めたい人や農林漁業事業体への就業を希望する人たち約70人が詰めかけました。

ガイダンスでは県農林水産部農業経営課の山田主任など県関係課の担当者が農林漁業の現状や就業に関して説明を行い、その後農業・林業・漁業に分かれて個別相談が行われました。

農業に関する相談コーナー（法人も3社参加）には農業に関心のある31名が訪れ、農業法人への就職するための留意点、農業の基礎的な知識や農業経営を新たに始めるための道筋などについても熱心に担当者の話を聞いていました。

また、全国農業会議所新規就農相談センターは、各県農業会議や日本農業法人協会などの協力を得て、全国農山漁村における雇用対策の一環として1月7日から同センターのホームページにおいて緊急求人情報を掲載し求職者への情報提供を行っております。1月26日現在、全国で143社、正社員・パート合わせて456人の求人が掲載されています。今後も随時追加・更新してまいりますので、従業員を募集したい法人がありました際には本会までご一報ください。

## 東海ブロック農村女性交流会が開催されました

東海農政局主催による「東海ブロック農村女性交流会」が1月16日ウィルあいちで開催されました。

1月5日付で就任された竹森三治東海農政局長のあいさつの後、経営支援課長から統一選挙後の女性農業委員の状況について報告がありました。全国的には女性農業委員の割合が0.6ポイント上がって4.7%に上昇したが、東海3県では0.9ポイントアップの5.1%（愛知県は1.6ポイントアップの5.5%）となったこと、愛知県の16名増加は全国最大であることが報告されました。

また、団塊の世代のふるさと回帰ミュージカル「田舎のチカラ」の制作・上演で有名な有限会社ウィルビー代表取締役の志村尚一氏が、「農山漁村における女性の社会参画 - 女性の元気が社会を変える」と題して講演をされました。

この中で、農業・農村に携わる者は、周囲の人々に如何にして農業を良く理解して貰うかが大切であり、消費者との交流を深めることが大切であること。そして、農村女性の力こそが、その突破口となると話されました。

昼食をはさんで、各県から取組事例の紹介が行われました。愛知県からは、安城市農業委員の黒柳二三子さんが「地域のネットワークづくりと女性ならではの活動」について報告されました。3県代表からの発表の後、新城市農業委員の荻野紀子さん（前常任会議員）が司会進行役となって意見交換が行われ、大幅に女性農業委員の増えた愛知県の取り組み等について多くの質問が寄せられていました。

## 常任会議員会議（1月）の審議状況

1月15日に開催した常任会議員会議では、農地法第4条に基づく転用事案24件9,579平方メートル、及び第5条に基づく転用事案340件273,859平方メートルについて審議し、何れも原案通りで了とすることが議決されました。

審議終了後は、平成21年度の農林水産省予算の概要及び今後の愛知県農業会議常任会議員会議等の開催計画等について説明しました。

## 山下惣一氏を講師に地域活動推進支援研修会を開催します

3月27日午後1時半から開催します平成20年度第2回総会終了後に、担い手アクションサポート事業の一環として、農民作家の山下惣一氏を講師に迎えて地域活動推進支援研修会を開催します。

演題は「日本農業の将来について（仮題）」です、多くの方のご参加をお待ちします。

## 愛花協だより（知事お祝いメッセージ、会長色紙贈呈）

豊川市長 坂満さん・明希さん（1月25日挙式）  
ご結婚おめでとうございます。一層のご活躍とご多幸を祈ります。

## 今後の主な行事予定

- 2月 2日 国際農業者フォーラム（豊橋市）
- 2月 3日 都道府県農業会議事務局長会議（東京都）
- 2月 4日 愛知県経営構造対策推進協議会コンダクター会議（白壁庁舎）
- 2月 5日 東海三県経営構造対策担当者会議（三重県津市）
- 2月 6日 地域担い手育成総合支援協議会担当者会議（岡崎市）
- 2月 7日 愛知県農家花嫁花婿対策連絡協議会第2回男性教室（岡崎市）
- 2月 9日 特定法人等農地利用調整緊急支援事業地方研修会（中村区）
- 2月11日 甲村茂氏叙勲祝賀会（豊田市）
- 2月12日 耕作放棄地対策検討会（半田市）
- 2月16日 常任会議員会議（白壁庁舎）
- 2月16日 常任会議員会議現地調査（海部農林水産事務所管内）
- 2月17日 男女共同参画推進大会（ウィルあいち）
- 2月21・22日 全国結婚会議（東京都）
- 2月24日 農業者年金基金業務連絡協議会幹事会・委員会（東京都）
- 2月25日 農業委員会活動評価検討委員会（白壁庁舎）

## あとがき

食料・農業・農村政策審議会の企画部会が開かれ、食料自給率50%を目指しての新たな食料・農業・農村基本計画の策定に向けての議論が始まりました。また、農林水産大臣は、農政の抜本的な改革に取り組むため、農相、官房長官を始めとする6閣僚による「農政改革6大臣会合」を設置する意向を示しておられます。

際限のない生産調整、農地の有効利用推進などに閉塞感のある農政の一大転換を図るためには、これまでとは異なった取り組みが必要なのではと思いますが、財政や通商政策に左右されない議論と農政の刷新を望むところです。